

「省エネ」トリプル受賞 住まいのウチイケ

記念講演会で栄誉祝福へ

省エネルギー性能に優れた住宅に贈られる「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2014」の特別優秀賞、優秀賞、地域賞をトリプル受賞した住まいのウチイケ（室蘭市八丁平、内池秀光社長）。18日に同市内で受賞記念講演会を開き、「光熱費ゼロ住宅」認定を祝う。（山田晃司）

同賞は一般財団法人日本地域開発センターが毎年、省エネ性能、省エネ手法、省エネ住宅普及活動の3項目で審査を行い認定している。大賞に次ぐ特別優秀賞は、同社が昨年から施工する高気密・高断熱住宅「エコハウスゼロ」が評価された。14年度は全国で24件、道内では2件のみの受賞。断熱性能を表すU値は道の省エネ基準0・46を大きく

上回る0・185で、光熱費ゼロを実現したという。

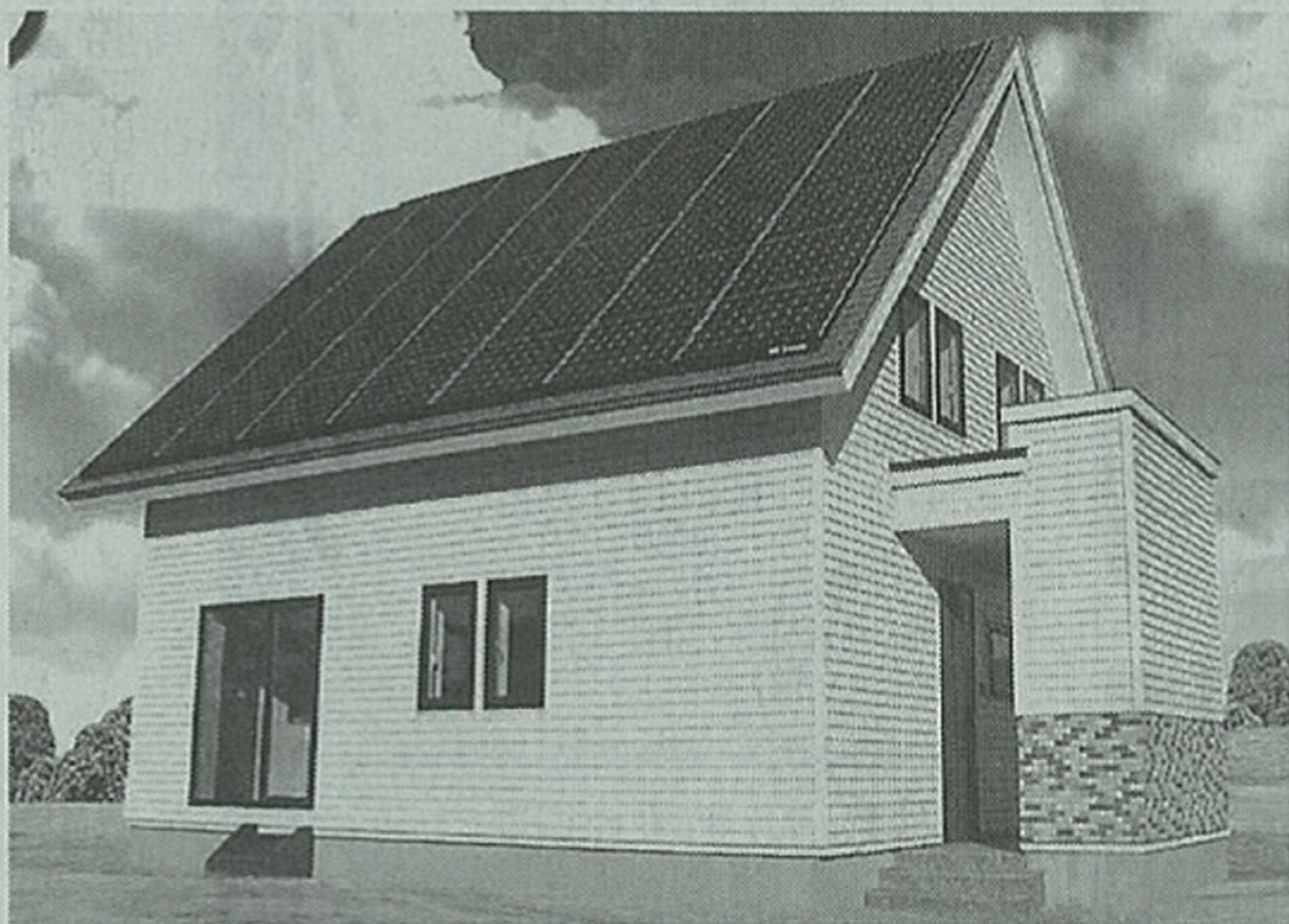
優秀賞は同社が01年（平成13年）から建設する標準仕様住宅「エコハウス」で選ばれた。こちらもU値0・33と優れた断熱性能を持つ。また、地域賞は、エコ住宅の開発・普及をはじめ、ソーラーパーク建設、研修センター無料貸し出し、社屋前の花壇づくりなど地域に根差したこれまで

室蘭で18日、一般市民の聴講も可能

の取り組みに贈られた。内池社長は「01年の社名変更以降、地球環境に優しい家造りに力を入れてきたが、省エネ性能は目に見えないのでお客さんへの説明が難しかった。今回の受賞で性能が形になり、大きな喜びを感じています。次は大賞を目指します」と意気込んでいる。

18日の記念講演会は午後1時から宮の森町の蓬蔭殿で開催。国立研究開発法人建築研究所の坂本雄三理事長が「21世紀の住宅と地域創生」をテーマに講演する。続いて、坂本理事長と北海道住宅新聞社の白井康永社長によるトークセッションが行われる。一般市民の聴講も可能で、希望者は同社、電話0143・42局4118番へ。

「ハウス・オブ・ザ・イヤー」トリプル受賞の表彰状と記念盾を前にする内池社長



特別優秀賞に輝いたエコハウスゼロ